

# ミュビシギ

*Crocethia alba* (Pallas)

## チドリ目シギ科

石川県カテゴリー 地域個体群

国カテゴリー なし

### 選定理由

砂浜海岸に渡来する小型のシギで、高松から根上海岸では毎年約400羽が越冬する。これは全国の越冬数の4分の一を占め、地域個体群として貴重であるため。

### 形態

全長20cm。翼長12～13cm。体重36～84g。成鳥夏羽は頭から首、胸にかけて茶褐色で縞がある。腹は白く、背面は茶色で黒い斑がある。冬羽は茶色味がなくなり、上面は灰白色、下面は白色になる。飛翔時には白い翼帯が顕著に出る。嘴と足は黒色。

### 国内分布

北海道から南西諸島まで全国で渡りの時期にみられ、本州以南では越冬するものもいる。

### 県内分布

春秋の渡りの時期には、七尾西湾や口能登から加賀にかけての海岸線の砂浜などでみられかほく市から能美市の海岸にかけては毎年400羽前後が越冬している。

### 生態

北極圏のツンドラの地上で6月中旬～7月中旬に営巣して繁殖する。中継地や越冬地では、海岸の砂浜に好んで生息し、波打ち際で波にあわせて走り、小さな甲殻類を主に食べる。本県の越冬個体群の主食はイシカワナミノリソコエビである。

### 生息地の条件

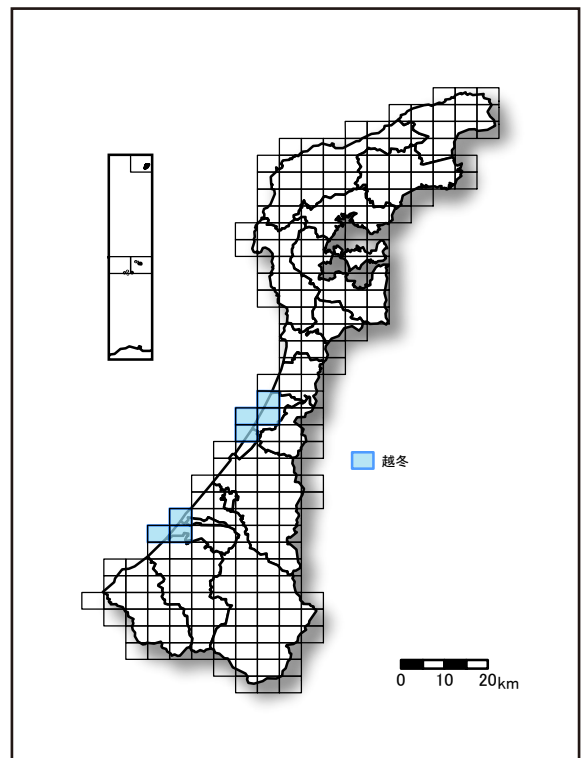
餌となる小型甲殻類の多い砂浜海岸に生息する。小型甲殻類の少ない砂浜にはいない。侵入する外敵（主に人間）が少ないことも生息地の条件となる。

### 生存の危機

海岸浸食による砂浜海岸の減少、消失。また海岸に侵入してくる4輪駆動車、釣り人などの影響で、越冬環境が落ち着かない。(A, D)

### 参考文献

中川律子 1997. 河北海岸の鳥類相の研究



県内の分布